

人間の安全保障無償資金協力：「サン・ヴィセンテ・デ・パウロ病院改善計画」



挨拶する丸橋総領事代理



丸橋総領事代理、シルヴァ市長による記念プレート除幕式

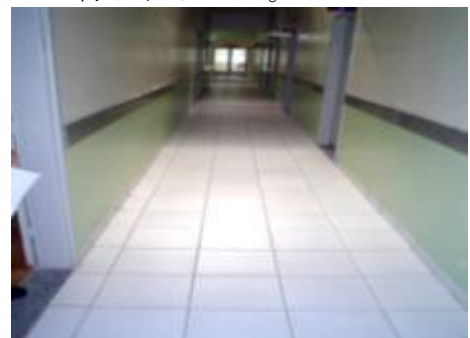
2005年4月7日、ミナス・ジェライス州カンピーナ・ベルジ市においてサン・ヴィセンテ・デ・パウロ病院に対する草の根・人間の安全保障無償資金協力の供与式が開催されました。

同供与式は、資金協力により改修された病院建物において丸橋次郎総領事代理、同病院クララ・デ・ヘゼンデ・ピント院長、フラジケ・グリタ・ダ・シルヴァ同市市長、ジョアン・シルヴァ・フィーリョ同市市議会議長他約120名が出席して盛大に実施されました。

式典でシルヴァ市長は、「連邦や州政府に要請しても叶わなかった支援の手が日本の国民から差し伸べられ、日本政府及び国民へ感謝します」と我が国への厚い謝意を示しました。続いて丸橋総領事代理の挨拶、記念プレートの除幕式、施設の紹介などが行われました。



改修前の病院内通路



改修後の病院内通路

上記案件のプロフィール

案件名：「サン・ヴィセンテ・デ・パウロ病院改善計画」

被供与団体：サン・ヴィセンテ・デ・パウロ病院

契約署名日：2004年8月27日

供与限度額：85,645米ドル

案件概要：

サン・ヴィセンテ・デ・パウロ病院は、ミナス・ジェライス州カンピーナ・ベルジ市（人口約2万人）に所在する同市内唯一の病院です。病院設立後60年以上が経過し、建物の老朽化により衛生状態が悪化しているほか、ベッド等の基本的機材も老朽化していました。

このたびの総領事館の協力は、病院建物改修費用及びベッド等基本的機材の更新費用、総額計85,645米ドルを、我が国が無償で資金供与したもので、三角ミナス地域においては初めての案件となりました。